



★『心豊かに、自ら学び、たくましく生きる子』の育成を目指して★

じそんかんじょう

「自尊心」を高めるために

「日本の子供が『自尊心』を持てなくなっている」とよく言われます。「自尊心」とは、他者とのかけがえのない存在「価値ある存在」としてとらえる気持ちのことです。ありのままの自分を受け入れると同時に他者のありのままを認められる「自己肯定感」や、誰かの、そして社会の役に立っている、貢献していると実感できる「自己有用感」と合わせてよく使われる言葉です。そんな日本の児童の「自尊心」について研究者が調べたところ、次のような傾向が見られたそうです。

- ・ 学年が進むにつれて「自尊心」が低くなっていく。
- ・ ドイツやオランダなど諸外国と比べてみても、日本の児童の「自尊心」は低い。
- ・ 親から見た子供の「自尊心」の評価に比べて、子供自身が感じる「自尊心」の得点が低い。（つまり、親は子供の「自尊心」の低さに気づいていない）

「自尊心」を高めることは、なぜ必要なのでしょう。それは「自尊心」が子供の自信ややる気、そして「確かな自我」を育てることに直結しているからです。「自分にもいいところがある」「努力すれば、だいたいことは身に付けることができる」「困ったことに直面しても、他者と協力すれば必ず解決法が見つかる」などの前向きな考え方をもち、他者と力を合わせながら、困難なことにも負けず、粘り強く取り組んでいく力を身に付けることが、これからの新しい時代を生き抜いていく子供たちには求められています。

「自尊心」が高い児童の共通点として、以下のことも分かってきました。

- ・ 「学校や地域の行事には、積極的に参加すべき」「授業中に授業と関係ないことをしない」「分け隔てなく、誰とでも協力して活動する」など、前向きさや積極性と共に他者と協働することやルールやマナーを守ることを児童自身が大切にしている。
- ・ 「保護者は、私のすることによく賛成してくれる」「保護者は、私の生活態度についてよく注意してくれる」「家族と一緒に料理やスポーツ、読書をしたり、劇や映画を見に行ったりする」など、保護者と一緒に過ごす多様な機会の中で、自分が保護者から関心を持たれ大切にされていると、児童自身が感じている。

特に注目したいのは、正しいことをきちんと教えてくれることだけでなく、だめなことをきちんと叱ってくれることも、「自尊心」を高めることにつながるということです。

また「自尊心」と切っても切れない関係にあるのが「言葉」です。人間は言葉を通して考えを持ち、言葉を使って感情をコントロールする生き物です。安心して自分らしさを発揮するためには「言葉」を整えることが先決です。励ましや応援、賞賛など、温かい言葉が交わされる環境であれば「自尊心」は自然と高まっていきます。

一説によると、人間の脳は主語を理解できず、言葉そのものを認識してしまうそうです。つまり「よし」「やるぞ」「やったね」「よかったね」など（俗に言う「Y語」）を相手に伝えたり、自分に言い聞かせたりすることで、相手に温かい気持ちが伝わるだけでなく、自分の脳も温かく前向きな気持ちになるそうです。逆に心を傷つけたり、相手を馬鹿にしたりする言葉が飛び交う環境では「自尊心」は萎んでいく一方です。「でも」「どうせ」「だって」「だめだ」（俗に言う「D語」）や「死ね」「きもい・きしょい」「下手くそ」などのマイナス言葉を口にするすることで、実は言葉を発した自分の脳もストレスやダメージを負ってしまうと言われています。

東舞子小学校では今年度「自分の考えを豊かに表現し、進んで伝え合う子の育成」を重点目標に設定し、子供たち一人一人が安心して自分らしさを表現し合ったり、それを認め合ったりすることを大切にしており、その中で「自尊心」を育むために、全教科や活動を通して「言葉」の使い方を大切に指導しています。いよいよ長い時間を家庭で過ごす夏休みが近づいてくるこの時期だからこそ、皆の心が温かくなるような、前向きでやる気の出る言葉のやり取りについて、ご家庭でぜひ話題にさせていただき、家族全員で意識する機会を作っていただけるとありがたいです。

校長

もっと！ひがまい！！

しょうがっこう ととき しょうじょまんがが か こころ ちか まいにちまいにち はし れんしゅう
小学校の時から「少女漫画家」になる！と心に誓っていました。毎日毎日、ノートの端っこに練習
していました。ちゃんとした漫画は、一回も描いたことがありません。でも、「いつか、なる！」と思っ
ていました。（これからなるかも？）なので、昭和の少女漫画みたいな絵が今でも描けます。自由帳
や、ノートに絵を描いているひとがたくさんいますね！ぜひみせてください。 図工担当 ずこうたんどう

日	曜	行 事
1	月	朝会 なかよしお楽しみ会（3・4校時）
2	火	SC
3	水	委員会活動
4	木	
5	金	
6	土	
7	日	
8	月	朝会 13:20下校 4年：読み聞かせ授業2～4h 個別懇談会・作品展①
9	火	13:20下校 個別懇談会・作品展② SC
10	水	13:20下校 個別懇談会・作品展③
11	木	集会 13:20下校 個別懇談会・作品展④
12	金	
13	土	
14	日	
15	月	海の日
16	火	SC
17	水	クラブ活動
18	木	13:20下校
19	金	終業式 給食最終日 13:20下校
20	土	
21	日	
22	月	夏季休業日（8/31まで）
23	火	
24	水	
25	木	
26	金	
27	土	
28	日	
29	月	
30	火	
31	水	
【 8月の予定 】 学校閉校日 8/9(金)～8/16(金) 夏季授業日 30日(金)		

☆お知らせ☆

【電話の対応時間について】

現在、本校の電話の対応時間は18時までとしています。この点について今年度の学校運営協議会で全国的に問題となっている教職員の働き方や業務改善、学校教育のあり方の観点からご指摘を受け、17時30分（7/19、12/24、3/24の終業式当日は17時まで）に変更いたします。

これ以降の時間帯に連絡を取り合う必要がある場合は個別に対応いたしますので、担任まで連絡帳等でご相談ください。

また、長期休業中の電話対応についても同様に、9時～16時（7/20～8/31土日祝除く）とさせていただきます。今後の長期休業日も全てこの時間帯での対応となりますので、趣旨をご理解の上、ご協力を賜りますようお願いいたします。

【学校閉校日の電話対応について】

今年度の学校閉校日は、8月9日(金)、13日(火)～16日(金)です。その間に緊急の要件でどうしても学校に連絡する必要がある場合は、神戸市教育委員会事務局の専用携帯（070-6652-5706）までお願いします。

対応時間は、8時45分～17時30分です。

【放課後の運動場開放について】

現在、水曜日、または校内の事情等で使えない日以外は、4・5・6年生を対象に放課後に運動場で遊んでから帰ってもよいことになっており、何名かの児童が元気に過ごす姿が見られます。

しかし、放課後の運動場の開放は、本校の教育課程の中で実施している訳ではなく、いよいよ本格的な夏を迎え、教員の管理がない状態で運動場を開放することは熱中症のリスクに対応することが難しいことから、7月1日(月)～9月30日(月)の間、放課後の運動場開放は実施を控えることにいたしました。

また、10月以降の放課後の運動場開放についても、学校運営協議会で運営委員の皆さまにご意見をいただきながら実施の是非について考えていく所存です。

どうぞよろしくお願いいたします。